

商船系 5 高専との密接な連携を確認

～ 「国立高等専門学校（商船学科）5 校 - 人材確保タスクフォース連絡会」を開催 ～

日本船主協会は、2008 年 7 月に「人材確保タスクフォース (TF)」を設置し、優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っている。

TF の活動には船員教育機関との密接な連携が不可欠であるが、この度、関連教育機関のうち、商船学科を持つ国立高等専門学校（高専）5 校との連絡会を開催した。

人材確保 TF は発足以降、商船系 5 高専（弓削商船高専・富山高専・鳥羽商船高専・広島商船高専・大島商船高専）との間で、例年、TF の活動や高専側の現状等について意見交換する「連絡会」を開催している。

今年度の連絡会は 2012 年 11 月 8 日（木）に当協会会議室で開催され、5 校の先生方と人材確保 TF メンバー全 7 社が出席した。

会合では、まず、今年度で 5 回目の開催となった「高専合同進学ガイダンス」の結果について意見交換した上で、2013 年度の開催方針に関して議論した。



連絡会の模様

また、5 高専が「商船学科における分かり易い学び・定着する学び」を目指し、昨年度からの 2 カ年事業として、新しいカリキュラムや教材の開発等を進めている「ALL



高専の各プロジェクトを説明する富山高専 遠藤教授

SHOSEN 学び改善プロジェクト」や、同プロジェクトの発展型として今年度から 5 カ年にわたって実施する「海事分野における高専・産業界連携による人材育成システムの開発」事業（通称：海事人材育成プロジェクト）についても意見交換された。

このうち、「海事人材育成プロジェクト」は、例年、文部科学省が大学・高専の応募の中から厳選する「連携共同教育推進事業」に、商船系 5 高専の提案としては初めて採用されたもので、当協会、国際船員労務協会、全日本船舶職員協会、全日本海員組合も連携機関として事業に名を連ねていることから、高専側から改めて当協会に対して今後の教育拡充事業への支援が求められた。

更に、今後、高専の先生方と当協会内航船社の関係強化に向けた「情報交換会」を新たに開催する案が纏められ、最後には高専と当協会の密接な連携を維持していくことを確認して今回の連絡会を終了した。



議論を取り纏める五十嵐副会長(TF 座長)